

木曾山崎団地地区「まちづくり検討会」及び「まちづくりワークショップ」の開催について

1 趣旨

木曾山崎団地地区は、「町田市都市づくりのマスタープラン」に基づき、モノレール延伸を契機として、新たなにぎわいの創出を目指した団地再生を推進していきます。そこで、2013年7月に策定した「木曾山崎団地地区まちづくり構想」（以下構想）を、モノレール延伸を見据えた構想に改定するため、「まちづくり検討会」及び「まちづくりワークショップ」を開催します。

2 背景

構想の主な目的は、5つの廃校となった学校跡地を活用し、まちづくりを推進することでした。それから数年後、学校跡地は新たな役割を果たしています。山崎保育園、町田消防署、桜美林大学東京ひなたやまキャンパスとして再生しました。さらに、旧忠生第六小学校跡地も今後、給食センターと（仮称）町田木曾山崎パラアリーナとして活用する予定です。これにより、全ての学校跡地の活用が決定しました。

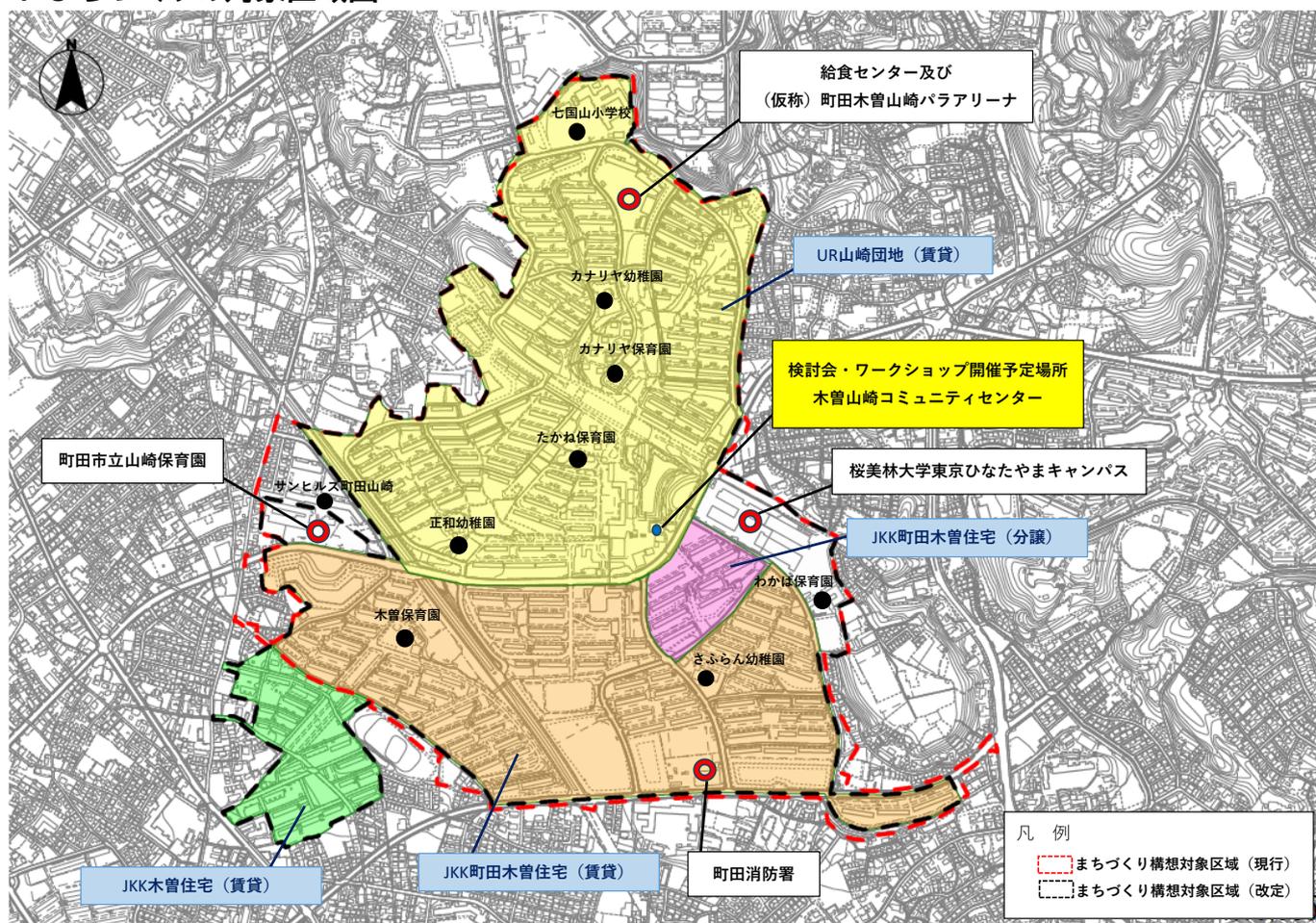
構想策定から11年が経過し、団地の築年数も55年を超えました。さらに、多摩都市モノレールの延伸ルートが選定されたことから、まちの将来像やまちづくりの方向性、整備方針などを再検討する時期が来たと考えています。

そこで、構想策定時と同様に「まちづくり検討会」を設置します。さらに、地域の皆さんや商店会の皆さんを対象とした「ワークショップ」も開催します。皆様から幅広いご意見をお聞かせいただき、構想の改定に向けた検討を進めていきます。

3 目標年次

目標年次は2040年とします。「まちだ未来づくりビジョン2040」と「町田市都市づくりのマスタープラン」に基づき、2040年に向けて目指す将来の木曾山崎団地地区のすがたを「木曾山崎団地地区まちづくり構想」として示します。

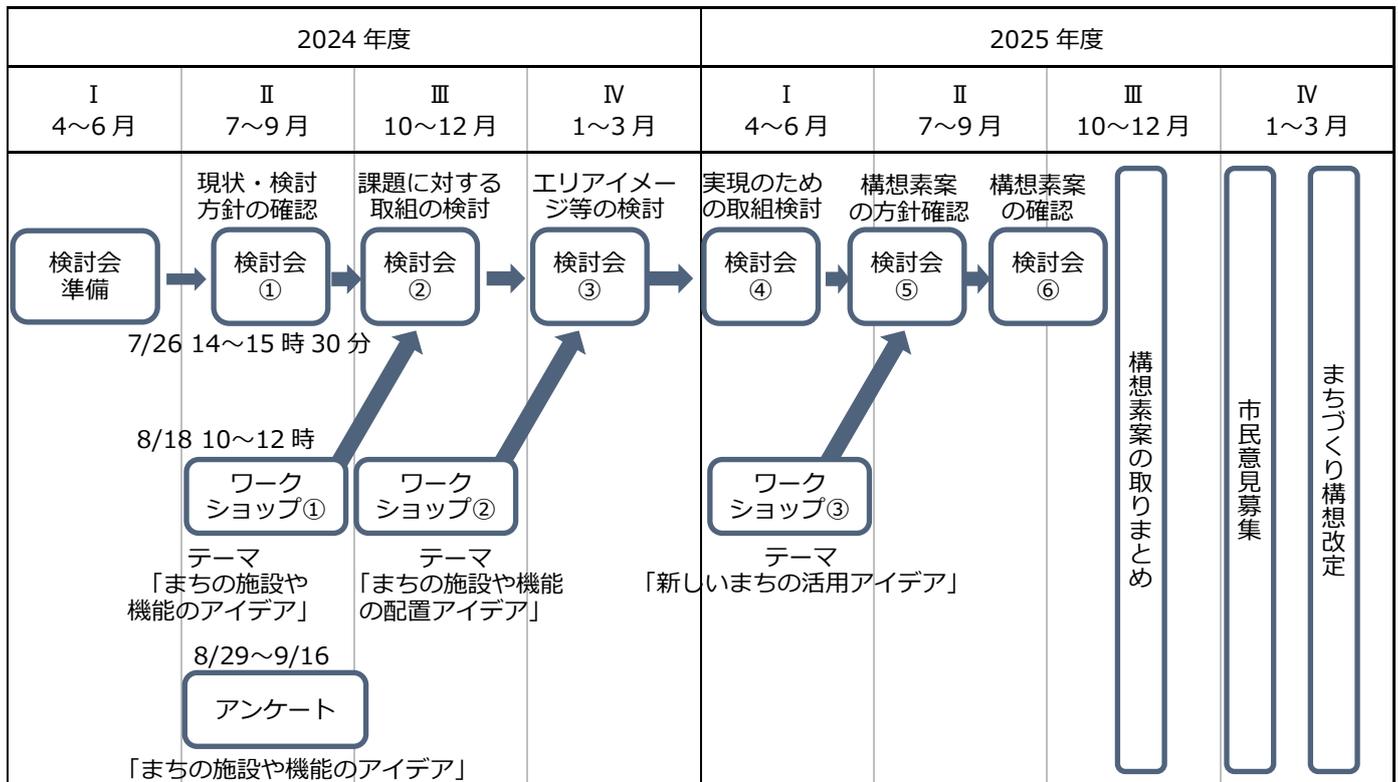
4 まちづくりの対象区域図



5 「まちづくり検討会」委員及び「まちづくりワークショップ」参加対象者

「まちづくり検討会」委員	「まちづくりワークショップ」参加対象者
<p>学識経験者 1名 清水哲夫委員 (東京都立大学都市環境学部観光科学科 教授)</p> <p>地元自治会・管理組合の代表 4名※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町田山崎団地自治会 ・町田木曾団地自治会 ・木曾団地自治会 ・町田木曾住宅ト号棟管理組合 <p>周辺町内会・自治会・管理組合の代表 5名※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上山崎町内会 ・本町田町内会 ・千代ヶ丘自治会 ・サンヒルズ町田山崎管理組合 ・町田山崎第二住宅管理組合法人 <p>オブザーバー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UR ・JKK <p>※2012～2013年の「木曾山崎団地地区まちづくり検討会」の委員を参考に選出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・UR 山崎団地（賃貸）の住民 ・JKK 町田木曾住宅（分譲）の住民 ・JKK 町田木曾住宅（賃貸）の住民 ・JKK 木曾住宅（賃貸）の住民 ・各団地自治会・商店会 ・地域内の幼稚園・保育園事業者 ・サンヒルズ町田山崎管理組合 ・桜美林大学 <p>※参加募集方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各団地自治会・商店会等個別説明 ・開催チラシ全戸配布

6 まちづくり構想改定までのスケジュール



7 進め方

まちづくり検討会、まちづくりワークショップ、まちづくり構想の作成を連携して、以下のフローにより実施します。

